

第 151 号

2019 年 2 月 8 日

発行 平生町議会

〒742-1195

山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1

TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109

発行責任者 福田 洋明

編集 議会広報広聴調査特別委員会

印刷 中村印刷株式会社

議 平生町 議会だより



祝成人！ふるさとを頼みます！

12月 議会報告

定例会	2ページ
委員会報告	3ページ
いっぱん質問	4ページ
議会研修報告	11ページ



新年のごあいさつ



平生町議会
議長 福田 洋明

町民の皆様におかれましては、夢と希望に満ちあふれた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から町政運営並びに町議会活動に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、私たちを取り巻く社会環境は年々厳しさを増しており、少子高齢化対策をはじめ、防災力強化、喫緊の問題である庁舎建て替えなど取り組むべき町政の課題は山積みしております。

私ども町議会議員は町民の皆様の代表であることを今一度自覚し、一人ひとりが危機感を持ってこれらの課題に向き合っていかなければなりません。

こうした中、昨年11月に町長選挙と町議会議員補欠選挙が同時に行われ、新たな体制がスタートいたしました。本町が今後どのように進むべきかの選択と実行を託された選挙となりましたが、私ども町議会は二元代表制の一翼を担う存在として、誰もが平生町に住んで良かったと感じていただけるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

町民の皆様におかれましては更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、本年が皆様方にとりまして幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。

平成30年第5回平生町議会定例会が、12月17日から25日までの9日間の日程で行われ、議案として、補正予算7件、条例1件、が上程され、各議案は、すべて全会一致で可決されました。一般質問は、8人の議員が町政の諸課題について質問しました。

一般会計補正予算

予算総額 2, 241万円増
50億9, 289万円

主な歳入

▽町税 個人
町民税 700万円増

固定資産税 2, 200万円増

▽国庫補助金
水産業費補助金 1, 390万円減

道路橋梁費補助金 877万円減

主な歳出

▽総務費
時間外勤務給水支援 100万円増

▽地域振興費
地域おこし協力隊員 報酬574万円減

▽民生費
社会福祉総務費 償還金、利子・割引料 2, 685万円増

障がい者福祉費 79万円増
保育所運営費 152万円増

▽農林水産業費
漁港建設事業費 2, 796万円減

▽土木費
道路橋梁維持費 1, 300万円減

▽教育費
中学校 防火シャッター改修 200万円減

▽特別会計
1, 037万円減

予算総額 43億7, 584万円

▽国民健康保険事業
1, 786万円増

▽下水道事業
2, 847万円減

条例

▽一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
※月例給の水準を平均して0.23%引き上げ。

新人議員紹介

11月18日議会議員補欠選挙で新しく議員になられた、中村武央議員を紹介いたします。



たけひろ
中村 武央 昭和53年生 (40歳)
住所 大野北

平成30年7月豪雨災害復旧費総額
1億5,334万円
国補助 1,247万円
県補助 3,958万円
平成30年12月現在

新町長所信表明



平生町長

浅本 邦裕

12月11日から町政の運営に取り組んでおられる、浅本邦裕新町長が所信表明をされました。

町長就任にあたり次の3点の取り組みについて述べました。

先ず第1に、「災害に強い地域防災力の強化」として、様々な災害の発生に備え、常に危機管理意識をもって、災害対策に取り組んでいく。

2点目は、「財政の健全化」として、財政運営のさらなる効率化・最適化を図り、将来にわたり持続可能な行政サービスを提供できる町政の運営体制を構築していく。

3点目は、「少子高齢化の問題への取り組み」として、現在一定の要件に該当する小学校1年生から3年生までを対象に、保険適用医療費の自己負担分を助成する制度の拡充に取り組んでいくとしました。

委員会審査報告

産業文教常任委員会

本会議から付託を受けた案件を12月20日、慎重に審査した結果、議案は全会一致ですべて可決しました。主だった審査経過は次のとおりです。

一般会計補正予算

道路橋梁維持費。工事請負費の減額は工事後に不用額が出たのか。

国庫補助金の内示により予算がつかなくなったため。

住宅管理費の修繕料の内容は。

ホームタウン平生の入居者が退去した。入居から20年経過しており、新たに入居者を募集するにあたり、内装等の修繕が必要であるため。

中学校管理費の委託料は、設計業務が300万円ということであれば、かなりのポリウムノの工事が予測されるが、今後も含めてどのような状況か。

普通教室棟と管理特別棟の給水設備の全面改修のための設計業務委託料。昭和46年当時の水道管があり、このたび全面的な改修ということでは補正をした。

一般会計補正予算
地域振興費、補助金、コミュニティ助成事業。

減額理由は、なるべく助成してもらえないことではできないのか。

当初予算は、申請があった3団体分を計上したが、採択されたのが1団体のため。原資は宝くじ助成金。今後は、採択された段階で補正で計上するという手法もある。

一般管理費、時間外勤務。給水支援で雑入が100万円あるが、支援に行った時のしくみはどのようになっているのか。

広域水道での応援協定に基づいて派遣したものである。平生町としては、田布施・平生水道企業団の一員として、平生と田布施から1日交代で職員を派遣した。

新庁舎整備調査特別委員会

第4回で山田町長が、「新庁舎の件は、新町長に任せたい」と発言されたので新町長が就任されるまで委員会は開かれませんでした。

1月15日、第5回が開かれ、浅本町長は、「大地震によって庁舎が被害を受ける」と職員や来庁者の命がおびやかされるだけではなく、復興の手続きにも支障をきたすので、なるべく早く着手したい」と言われました。委員会としては、基本構想・基本計画には賛成しておらず、それを受けて行政は測量・地質調査を行っておりませんでした。用地取得の交渉をする材料には測量をする必要があるとのこと、測量のみを行うことは了承しました。



細田留美子 議員

いっばん質問



が聞きたい

質 町長の政治姿勢を聞く

答 様々な声を反映し政策を行う 町民が主役である



答弁に立った新町長

質

1. 前山田町政への評価
 2. 新庁舎建設の進捗
 3. 災害対策の充実
 4. 協働のまちづくりを進めるため各団体や町民の声を直接聞く機会の創出を考えているか

以上を検証しつつより良い総合計画づくりに着手して欲しい。平生町の未来に向かって確かな羅針盤となるはずだ。
 新たな船出となる今、第5次計画策定に、強力な陣頭指揮はどうか。

答

町長

① 広域合併問題、人口減少、地方創生、新庁舎やインフラ資産の老朽化問題など試験や困難を抱え山田町政5期20年間重責を担っていただき感謝と敬意を表する。
 ② 新庁舎は用地取得や地質調査等の実務的業務を早急に取り組む。
 ③ 災害に強い地域防災力の強化を図る。
 ④ 地域と共に、知恵を絞り力を出し合う原点に立ち政策を行う。

質 町内行事の見直しはないか

答 意見を聞き意識を持って当たる

質

この秋にもたくさん
 の行事が開催された。
 どの行事も歴史など
 あるが実行組織は同じ
 ような顔ぶれでありポ
 ランティアも同様だ。
 人口減少や高齢化に
 対応した行事のありか
 たを考える時期に來て
 いるのではないかと
 参加人数の減少も見
 られる。行事の目的や
 種類など考慮して統廃
 合はないか。見直しの
 予定はないか聞く。

答

町長

統廃合の話があれば
 見直してもよいが現在
 声も聞いていない。
 こちらの意見も踏ま
 え調整し、意識を持っ
 てあたらせていただく。
 団体の会員の減少、
 高齢化又固定化と運営
 も厳しくなっている実
 態がある、少しずつ改
 革はしてきているが現
 状をしっかりとみてい
 きたい。



大いに、にぎわった産業まつり



渕上 正博 議員

質 「学童保育」基準緩和について問う

答 安心・安全を保障し質の向上に努める

これを廃止すれば、子ども達の安心・安全は守れない。専門性を持った指導員の複数配置が必要である。当町の考え方は。

厚生労働省は、学童保育の職員の配置や資格の基準を緩める検討を進めている。現時点の政令基準では、指導員を40人を1単位として2人の指導員を配置することになっている。

質



小学生が憩う平生中央児童館

答

町長

待機児童を解消するため省令基準の緩和を求める動きは昨今マスコミ等でも報道されている。本町では省令基準を条例で定めて放課後児童クラブ運営指針に基づき運営している。

専門的な知識も備えた指導員が継続的かつ安定的に子供達にかかわることは不可欠である。従うべき基準を検討し、保育の質の向上に努める。

質 福祉避難所・当町の体制は

答 体制を整備し、必要なものは行う

質

福祉避難所は、高齢者や障害者など配慮が必要な「要配慮者」向けの避難所で、阪神大震災後の1997年災害救助法に基づく指針に盛り込まれている。指針では「福祉避難所」の指定を求めている。当町ではどのようなになっているか。また、要配慮者10人に対して支援員を1人配置をすることがなっているが当町の対応は。

答

町長

災害発生時に町が設置する指定避難所は24ヶ所、この避難所内に福祉避難スペースを設置対応する。運営は町職員が行うが町内の介護保険サービス事業者と対応できるような協定締結の協議を進めている。対応が困難な要配慮者は特別養護老人ホーム等緊急受け入れを町内事業所と協議し協定書の作成を進め今年度の締結を目指している。



防災訓練での車いす体験



中本 敦子 議員

質 財源難できびしい状況にどう歩むのか

答 お金より知恵を出し工夫しながら実行していく



毎年おこなわれている行政協力員会議

質

現在県内で最も厳しい財政難の状態にある平生町のかじ取り役として就任された。行政に相談すれば「金がない、金がない」で話は前に進まず町民は我慢が普通であきらめの感もある。気楽に話せる環境づくり、対話が大切と思う。住み良いまちづくりに何が必要か、住民が協力できることは何か。

答

町長

住民懇談会、自治会の担当窓口、これらについて、いろんな意見を頂戴して、それを施策に生かしていきたい。実行できるものは続行していきたい、それによって町民の言いたいことが増えてくれば、町も活性化すると考えており、できる限り町民の声を聞きたい。いろんな会議に出て頂き、発言、意見、要望を言っていただくのが町民にとって一番いいと思っている。

質 住民が安心できる災害対策と現状は

答 防災対策にはすぐに取りかかる考えである

質

平生町新庁舎整備町内検討委員会が5年前の平成25年スタート検討され現在の場所に建て替える事は、先々住民が安心できる最適な場所と思うか。
高齢者に対するマニュアルの完成は今年10月と聞いた現在の進行状況は、住民への説明、配布はいつごろか。
町長の災害に強い安全、安心な町づくりを問う。

答

町長

庁舎だけでなく、施設も複合的につくること、皆様の意見を聴きながら、本当にこの場所でのいいのかも含めて検討して案を示していく。本年10月に高齢者対応も含めて平生町避難所運営マニュアルを作成した。近日中に平生町ホームページに掲載する予定である。町民の生命、身体、財産を守ることが第一義と想っている。防災対策にはすぐに取りかかる考えである。



心肺蘇生訓練



岩本ひろ子 議員

質 基本構想の策定について

答 必要か必要ないかを見極め次期計画を作成する

質 平成23年の地方自治法の改正により、市町村の基本構想の策定義務は撤廃されたが、我が町の方向性を定めるといことは非常に重要である。今後の第5次総合計画についてはどうに進めていくのか、また地域の用途区域が指定されてから半世紀経っており、本来の用途とは違うものとなってきたので、見直しの必要があるのではないかと問う。



住民懇談会

答 町長
基本姿勢、計画の構成、計画期間、策定スケジュールなどを定めた次期総合計画の策定方針を作成し、課長級民間団体の代表者からなる策定委員会、まちづくり協議会等を開催し、住民アンケート調査分析をし、32年度からは総合計画審議会への諮問、住民懇談会やワークショップで開催する予定である。第4次総合計画の中身を見ながら必要、必要ないかを見極め次期計画を作成する。

質 公共施設、インフラの老朽対策の取り組みについて

答 廃止や取り壊しを視野に入れ方向付け示す



前ほのぼのセンター（旧大野保育園）

質 厳しい財政状況が続く中であるが、公共施設又インフラの老朽対策は避けては通れない課題となっている。そこで公民連携をとり、公共施設を民間に貸付け事業者が維持管理、運営を行い、賃料を支払ってもらう方法や、負担の寄付を集めるなどのインフラ保守があると思うが、どのような取り組みをされるのか問う。

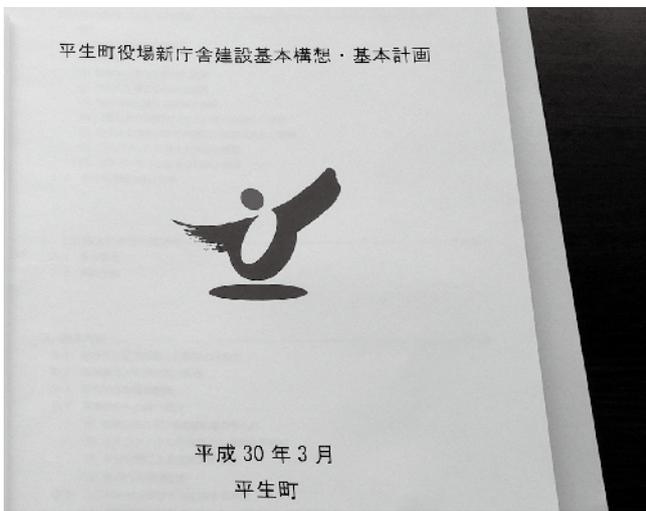
答 町長
施設を活用して事業を展開しようという民間とのマッチングが進まない状況にあり、その背景には軒並耐用年数を経過した現在施設の状態が難点となっている。町財政を圧迫する要因となるものは、廃止や取り壊しを視野に入れていかなければならない。負担の寄付については議会議決要件となり行政運営に必要として説明責任を果たし進めるべきである。



平岡 正一 議員

質 地方自治の本旨にもとづく町政推進を

答 平生町独自の魅力を生み出す



平生町役場新庁舎建設基本構想・基本計画

地方自治の本旨について、人口減少問題、町財政、新庁舎整備についての見解を尋ねる。「国や県の知恵を活用する」と表明しておられるが、地方自治の本旨にもとづく町政の運営をしてほしい。全職員の力を結集し町の未来戦略の具現化をすすめ、町民と力を合せ町民本位の立場で県や国と交渉して行く必要がある。

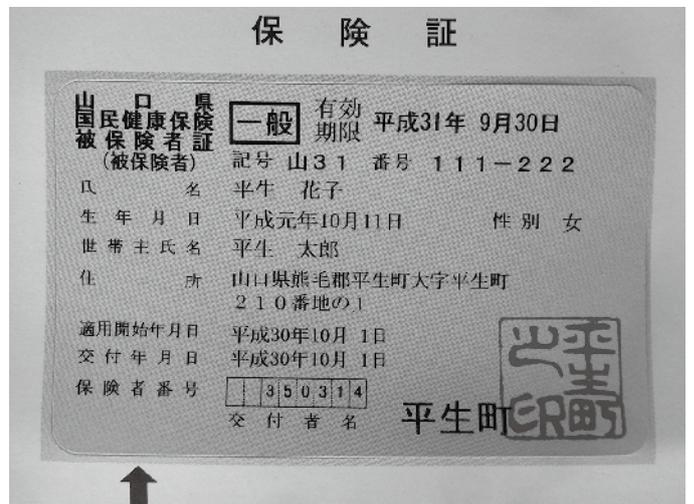
町長 地方自治の本旨は地域の特性、歴史、伝統そこに住む人々の思いを取り込んで地域を運営し、自主的に課題に取り組み独自の魅力を生み出すことである。未来戦略の事業を着実に積み上げ人口減少の抑制と定住人口の確保に努める。限られた財源を有効活用し将来の平生町を活力あるまちであり続ける町財政構造を構築する。

質 国保税を引き下げて国保財政の健全化を

答 平準化を図りながらゼロにする

9月の決算で、国保の基金が2億5,108万円となった。30年度2,300万円繰入れて国保税の引き下げを実施しているが、2億2,808万円が残っており、町の各財政力指数が実態と違う悪影響も出ている。国保は県が運営主体となっている、県の示す国保税まで下げて基金をなくして行く財政健全化に取り組むべきだ。

町長 今後、県が示す標準保険料率をもとに、適正な国保税率を定めていく。将来、被保険者は減少するものの、高齢者は高い水準で推移すると見込まれる。保険料の平準化を図りながら基金をなくしていくのが一番妥当だと考える。ゼロにするようにする。



国民健康保険 保険証



河内山宏充 議員

質 選挙事務について

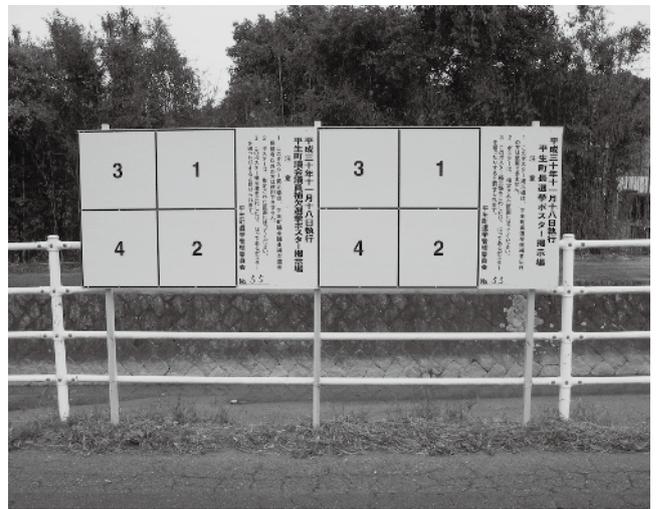
答 選挙啓発活動に取り組む

質

11月に二人の女性から、選挙ポスター用掲示板が二種類立てられている理由を尋ねられた。

別の女性からも選挙はなしてするんか、あるのかないのかも尋ねられたことから、選挙啓発投票率向上を目的に選挙広報活動について、また町ホームページを有効に活用する施策について尋ねる。

とくに田布施町とホームページでの開票情報内容が異なる理由は何か。



町長選挙、町議会議員補欠選挙の掲示板

答

選挙事務局長

広報10月号及びホームページに両選挙の実施、告示日、立候補受付・投票・開票等の日程や場所に加え、期日前投票や不在者投票についてお知らせをした。

町長選挙告示日に無投票の結果を掲載した。町議会議員補欠選挙の開票結果についてはホームページに結果を掲載した。

田布施町のホームページには当日の男女別有権者数が掲載してある。

質 主張にどう取り組んで行くのか

答 新しい風を入れる

質

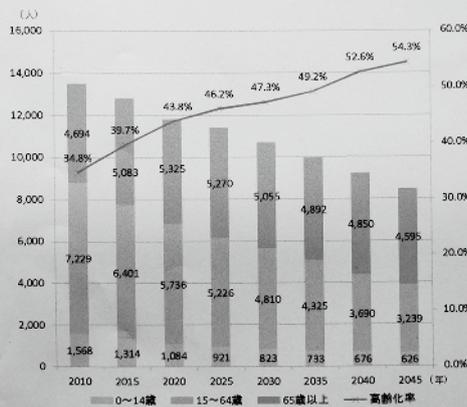
町長の後援会の資料で「誰もが閉塞感からの脱却を望んでいきます」と主張。例として、人口減少、少子高齢化の波の影響による将来負担比率指標が県内で最も厳しい状況を理由に挙げ、政治に臨む立場を明らかにされている。

自らの主張される将来負担比率指標の改善に向けた施策の展開に、どう取り組んで行かれるのか。具体的な計画・方針について尋ねる。

答 町長

第6次行政改革大綱を引き続き着実に実行していく。その中に新しい風を入れていく。町長が変わっても何も変わらないのは、皆さんが私を町長にした意味がないと自分自身思っている。

25 平生町 (1) 人口推移と高齢化率



平生町の人口推移と高齢化率



松本 武士 議員

質 防災計画の見なおしは

答 地域防災計画を見なおし対応していく

質

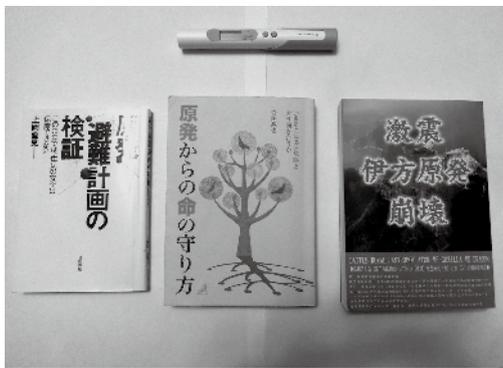
平生町は、南海トラフ地震等の発生時、伊方原発の放射線漏洩事故の影響を受ける可能性がある。

①国と四国電力に稼働を止めるよう要望しないのか。

②ヨウ素剤備蓄と避難計画を作成しないのか。

③「災害協力井戸」を募集するのはどうか。

④自主防災組織に対してアンケートを取り、改善に努めてはどうか。



伊方原発にかかわる書籍

答

町長

①伊方原発のある四国電力への要望は今のところない。

②ヨウ素剤については買っておいたほうがよいとは思いますが、財政とよく相談して考えていく。

③災害協力井戸については所有者から町に届け出る義務はない。災害時には井戸水の水質に変化が生じることも考えられる。給水については行政がしっかりと対応していく。

④自主防災組織に対するアンケート調査を実施していきたい。

質 企業進出による環境保全是は

答 厳格に指導していく

質

企業進出等による住民の不安や環境保全等に対する対応は、規制緩和により企業進出が活発になり環境悪化が懸念されるが、どのように考えているのか。
太陽光発電設備は、土砂災害特別警戒区域に設置できるが、木を伐採する為、土砂災害が誘発される可能性がある。届出制にして規制してはどうか。

答

町長

企業進出については地域との繋がりが手薄とならないように丁寧な対応に心がけ地域住民との良好な関係が維持されなければならぬと考えている。
県と連携して適切な指導対応を行っていく体制を整えていく。
太陽光発電設備は本町においては現在のところ個別の対応によって問題の解決を図っている。規制対象の事業については、厳格に指導していく。



山地に建設された太陽光発電



中川 裕之 議員

質 ふるさと納税の取り組みについて

答 寄附者の利便性を高めていく

質 この制度が導入されて10年になる。全国の地方自治体は多くの寄附額を獲得しようとしてきた。国は本来の主旨から外れているとして見直しを考えているが締め付けるのではなく拡充の方向でお願いしたい。地方交付税だよりの自治体運営から自分たちの努力次第では財源を確保できる夢の制度にもなれると思うが今後の取り組みを聞く。



ふるさと納税サイト

答 寄附者の利便性を高めるため寄附金の納付についてクレジットカード決済を使用可能とするなど取り組みをした。今後もふるさと納税を促進していくため、お礼の品の拡充やポータルサイトを活用し平生町のPRにつながる情報発信や平生町が抱える課題解決のための使い道に共感し、ふるさと納税をしていただけるような取り組みも検討していく。

答 町長

議会研修報告

町村議会広報研修会

広報委員会は、平成30年10月9日に町村議会広報研修会に参加しました。

3人の講師により、広報のより良い作成にかかわる問題点に対し

1. 読み手に伝わる文章の書き方
2. デザインの力で、もっと伝わる議会広報
3. 議会広報に対しての編集力

この3点について研修を受けました。私たち広報委員会メンバーは、この研修を力により良い議会だよりを編集していくつもりです。



広報委員が参加した町村議会広報研修会

